



紫陽

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区

We Serve

地区ニュース

1991 ~ 92 No. 2 1991年9月30日発行



冬鯉



友情の絆で広げる まごころ奉仕

目次

| | | |
|------------------------|---------------------------------------|----|
| ● 会員増強について私の思うこと | ガバナー L. 吉田 政勝 | 1 |
| ● バンカー国際会長日本公式訪問 | | 2 |
| ● 第1回キャビネット会議報告 | 地区幹事 L. 渡辺 惇 | 3 |
| ● NON・LIONからの提言 | 地区PR情報副委員長 L. 山内 豊彦 | 4 |
| ● 目の疾患と失明について | L. 椎名 益男(千葉LC) | 6 |
| ● YEサマーキャンプの報告 | 地区YE委員長 L. 望月 武峰 | 9 |
| ● 台湾省台中ボーイスカウト交流会に参加して | L. 楠岡 巖(四街道LC) | 10 |
| ● リジョンの頁 | | 13 |
| | 1. 市川LC 2. 下総中山LC 3. 浦安LC 4. 行徳LC | |
| | 5. 市川北LC 6. 松戸東LC 7. 関宿LC 8. 柏LC | |
| | 9. 柏中央LC 10. 印西LC 11. 柏オークLC 12. 柏LSC | |
| ● 活動するライオンズ | | 18 |
| | 1 R 浦安シーサイドLC | |
| | 2 R 船橋中央LC 船橋ポートLC 習志野LC | |
| | 3 R 千葉ポートLC 市原南LSC | |
| | 4 R 旭LC 飯岡LC 多古LC | |
| | 5 R 木更津金鈴LC | |
| | 6 R 館山LC | |
| | 7 R 白子LC 長南LC 九十九里LC 東金LC 成東LC | |
| ● アフリカからのお客様 | L. 池田 治郷(浦安シーサイドLC) | 25 |
| ● 祝い歌のルーツを訪ねて | 多古LC | 25 |
| ● 台湾(的)詩人との交流 | L. 高橋 惣司(東庄LC) | 26 |
| ● 原油埋蔵量について | L. 桜井留治(船橋京葉LC) | 27 |
| ● 物故会員(6月~7月) | | 27 |
| ● 編集後記 | L. 蒔田 辰男 | 27 |

表紙のこと

表紙の絵について

前号に引き続き青木 孝(松戸東LC)に山葡萄の絵を書いていただきました。

会員増強について私の思うこと

333-C地区

ガバナー L. 吉田 政 勝



1. 数は力なり＝ライオンズクラブの源泉

「一本の明り。一本の、小さな明り。それはわずかに身の廻りを照らすにすぎない。しかし幾千万と集まれば影と闇とをなくする巨大な光明となるにちがいない」。これは「ライオンズの光」という詩の一節です。

一人一人の力は決して大きくはないが、クラブ全員がまとまりチームワークを発揮して事にあたれば偉大な力となります。

私たちのモットーが「I Serve = 私は奉仕する」ではなく「We Serve = 私たちは奉仕する」である所以であります。

私たちはライオンズメンバーの一人一人は、必ずしも高い志をもった奉仕家あるいは慈善家ではありません。ごくありきたりの人々の集まりです。しかしその小さな志がチームワークをとって多数集まったとき偉大な力を発揮します。ここにライオンズクラブの存在意義の源泉があるのです。

私はそう考えております。

したがってライオンズクラブにおいては、会員の増強が常に至上の命題となるのです。

2. 新クラブのエクステンション

既成の個々のクラブの会員増強の努力だけでは到底全体の会員数は増加していきません。これには種々



We Serve

の原因がありますが、原因の追及はおきます。

そこで新しいクラブをエクステンションすることが大変重要となります。私は千葉県においては新クラブの結成の余地が十分に存在していると思います。

新クラブの結成にご努力を願いたいと思います。新クラブには、ライオンズクラブに限らず、ライオネスクラブ、レオクラブも含まれます。

3. 女性に門戸開放を

新クラブのエクステンションが簡単には出来ない、またところによっては男性の会員増強も難しい、そんな時代になってきました。

そこで着目したいのが女性会員であり、これを推奨しているバンカー国際会長に私は敬意を表する者です。

現在、世界のライオンズにおいて女性会員は4万人を数えるに至りました。毎年約14000人の増強会員のうち半数の7000人は女性会員であり、女性会員の増加率は究めて高いのです。

今年は、フランス103-CC地区において、マダム・ルイ・コロンバンという女性がバナーが誕生しました。

わが333-C地区でも女性会員が次々と入会しており、いずれもグッドスタンディング会員として活躍しておられます。

しかしまだに大多数のクラブにおいては、女性の加入を真剣に考えておられるとは見られません。ご再考を願いたいと思います。

4. 退会会員ゼロ運動を

新入会員を獲得しても、一方において旧会員が退会して行ったらトータルとして会員は増加しません。特に有能なメンバーの退会は何物にも替え難い重大な損失です。

退会の原因となるクラブ運営の問題点を再検討して頂きたいと思います。

円滑なクラブ運営と楽しい例会計画を中心に、個々の会員間のコミュニケーションを大切にすべきでしょう。

5. われらが会長に100%会長賞を

クラブのチームワークは、その年度の会長を中心に結束し、会長を盛り立てて進むところから生まれるのです。

会員はこぞって自分のクラブ会長に100%会長賞が獲得できるように努力して頂きたいと思います。

その条件は決して難しいものではありません。要点は会員の1名以上の純増と、会員自らが1名のスポンサーとなることです。

会員皆様のご協力をお願いします。

バンカー国際会長日本公式訪問

ドナルド・E・バンカー国際会長が日本のライオンズクラブ公式訪問のため来日されました。

去る8月31日、330-333両複合地区の合同公式訪問及び歓迎晩餐会が品川パシフィックホテルで開催されました。



両複合地区から約800名のライオンが参加し、盛大且つ和やかな雰囲気のうちに行われました。

バンカー国際会長の御挨拶は約40分に亘る熱弁でしたが、要旨は地区ニュース第1号の活動参加(1991~92国際プログラム)にある通りで、特に視力ファーストを強調されました。加えて日本のライオンズクラブに対する敬意と感謝の言葉が強く述べられました。



我が地区の吉田ガバナーより記念品の贈呈が行われました。

歓迎晩餐会では、バンカー会長夫妻を囲んで、写真のフラッシュが飛び交い、終始和やかな雰囲気のうち修了しました。



We Serve

第1回キャビネット会議報告

地区幹事 L. 渡 辺 惇

7月28日(日)本年度第1回キャビネット会議が習志野市サンベデックにおいて、100余名のキャビネット構成員等の御参集を得て開催された。

吉田ガバナー以下の本年度キャビネットにとり、初仕事というべきものであり、本年度の地区活動の大綱がここにおいて定められた。

例えば、基本的な事業計画および予算案の承認等がこれである。

各リジョンチェアマン、ゾーンチェアマン、委員長の皆様も活発な討議に参加され、充実した抱負を述べられた。今年度のご活躍は期して待つべきものと確信させられた。

当日の決議事項については、各クラブ宛に議事録を送付してあるので、詳細についてはそちらを御参照願いたい。例年と異なる事項としてはACT資金創設検討委員会の設置と、財政特別委員会の設置が認められたことである。



キャビネット業務を担当して二点ばかり、感想がある。一点はキャビネットは何らかの事業を主体的に実行する機関であるのかと云うことである。もし事業の実行機関であるとするれば、キャビネットの予算規模はあまりに少ない。満足な委員会活動予算すら組むことができないのが実情である。ACT資金構想が打ち出され、財政特別委員会が設置される所以である。

二点目は、運営のノーハウが蓄積しにくい機構になっていると云うことである。幸い当地区は事務局が固定されており、事務員は経験を積み重ねていけるが、その他の部分ではこれが少ない。私達吉田キャビネットは、10年前藤田キャビネットを担当して若干の経験があるが、全く新たに担当される場合には戸惑われることであろう。工夫を要するところであると思う。

ともあれ、第1回キャビネット会議を経て、本年度の基本的骨格は定められた。構成員諸氏のご活躍を心から御願ひして報告に変える。

NON・LIONからの提言

—PR情報セミナー報告—

地区PR情報副委員長

L. 山内豊彦

去る8月25日、ガバナー主催の「PR情報セミナー」が、ノンライオンの湯沢明先生を講師にお招きして、333 C地区全域より約100名のメンバーご出席のもと、開催されました。

湯沢先生は大学卒業後、博報堂にて企画制作局、SP局、ディレクター・CI、SI・SPプロデューサー及びプランナーを努め、又、信州大学経済学部講師等のご経験を経て、現在「企業教育研究会」の代表としてご活躍中の方であります。専門的実践の中から「PRの効果的な方法と情報の意義と大切さ」をテーマに約45分間ご講演を頂きました。



つい先日ソ連で起ったクーデターを現在の方向へ導いたのは、民主主義の中の情報という大きな力為し得た業だろう……という身近な話題から始まりました。内容を簡単に記してみると……どんな企業も、団体も活性化を目指した時、PR・情報の果たす役割は大きい。

タイムリーで新鮮な情報は正しい判断を下す為に不可欠な価値を持って居り、その情報を得るには現状把握をより正確に行うことにある。現状把握

のサーチをする側の心構えの中に「主役は地域社会なんだ」ということを忘れず、地域社会の真のニーズを知り得ることが奉仕の内容に大きく影響するだろう。より良い情報を得るには、自らより多くの情報を発信しなさい!! 情報を出さない処に情報は集まらない!!——PRの方法について—— PRには広告活動とパブリシティの2つがあり、パブリシティを上手に利用すると資金のかからないPR活動が出来る。パブリシティには、新聞雑誌媒体と電波媒体があるがニュース性によっては十分利用出来る……等々……

先生の経験から実例を挙げての有意義なお話しを頂きました。今回はノンライオンによるPR・情報の概念をお話し頂いたせいか、ご出席のメンバーの方々もLC以外のご自身の事業にも関連した問題とあって大変真剣なセミナーに終始致しました。LCに於ける現状把握の方法で、333 C地区内でアンケート調査をしたらどうか?という御提案を頂く等、セミナー開催の意を十分果たせた様に思います。

終りに準備期間も短かくご出席の方々の御期待に対応し得なかったことと思いますが、皆さんの御協力と寛容の精神特に2R、PR情報委員、L桜井留治に支えられ無事終了出来ました事に感謝申し上げ、又、各々の地域性の中でより生かされた成果をご期待申し上げ報告と致します。



We Serve

「眼の疾患と失明について」

— 角膜移植も含めて —

千葉大学眼科教授 安達恵美子先生御講演から

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長

L. 椎名 益 男 (千葉LC)

平成3年8月10日(土)、千葉ロイヤルプラザホテルで開催された千葉LC第681回(家族)例会に、千葉大学医学部眼科教授安達恵美子先生をお招きして「眼の疾患と失明について—角膜移植も含めて—」と云う演題で御講演をして頂きました。当日は333-C地区ガバナーL吉田政勝、地区会計L竹田良美、地区PR情報委員長L. 蒔田辰男、地区視力ファースト献血・献腎推進委員長L川崎忠男、同副委員長L及川雅賀はじめブラザークラブのLの皆様も多数御参集下さり、総計220名の盛況でございました。

LC国際協会の主要奉仕に「視力ファースト」が選ばれたことは非常にすばらしい事と思います。病気になって初めて健康の有難さが解かると言われて居りますが、この視聴力保護・言語障害・盲人福祉の問題をLCで考えるためには、まずLCの会員自身がその実態と現実を把握、理解することだと思います。まず関心を持つ事がウイ・サーブの第一歩だと思ひ、安達教授のお話を伺う事になったわけです。私は視力保護の問題について今までほとんど関心を持って居らず非常に恥ずかしく思います。そこで、遅まきながら、この委員長を仰せつかったのを機会に私達夫婦そろって千葉県アイバンク協会に献眼登録させて頂きました。

安達先生は昭和37年に千葉大学医学部を卒業され、昭和59年6月に千葉大学で初めにて非常に美人の教授と云うことで話題を呼びました。63年7月にシーボルト賞を受賞され、海外でも非常に有名で、ロッテルダム大学、マックスプランク研究所、チューリッヒ大学等に引っ張りだこであられ、指導的な立場で研究を進めて居られます。ここで安達先生の御講演を要約させて頂きます。安達教授が最初に示されたストラスブルグ教会のステンドグラスのスライドはとても印象的でした。目が見える事の素晴らしさを改めて教えら



れた出来事でした。私達の目は大きい字も、小さい字も読める能力のほかに色を弁別すると云う大変優れた能力があり、目が見えなくなると、外界の明るい暗いもわかりませんが、色の世界が無くなってしまいます。眼球は直径2センチ3ミリぐらいのピンポンの様な形をして居り、前の方のブルーになって居るところが角膜で、その中が水晶体と云い、20 ジオプトリーぐらいの凸レンズになって居ります。その内側に網膜と云う、カメラで言うとセンサーに相当する大変精巧な膜が張りついております。角膜は1ミリぐらいの透明な膜で直径も約1センチぐらいで黒目の上を覆っている透明な膜で、角膜移植と云うのは丁度この濁った処の角膜を入れ換えてあげる手術で、臓器移植が一番早く行なわれたのが眼科と云う事になります。角膜移植の対象となる疾患には、角膜の周辺からどんどんむしばまれ最後には全体が真っ白になってしまう蚕食性角膜潰瘍があり移植以外治療法がありません。第2に角膜の真菌感染です。最終的に真っ白な瘢痕を残し中の方は助かっても外側の角膜は白いまま残ってしまいます。第3に外傷による角膜の白濁があります。第4に円錐角膜があります。角膜はある程度の曲率半径、偏平な形をしているのですが、先天性に尖った角膜で、次第に尖りが増して濁ったり破れたりします。こういう場合には角膜移植は100%成功し大体高校生の頃に移植しますが、この疾患で移植を待っている方が多数居られます。角膜移植はその昔は70才の角膜が限度でしたが、最近では寿命も伸び70才過ぎても立派に健康な角膜がございます。佐原のL鈴木英夫が亡くなられたのは75才を過ぎて居られたと思いますが、両方の角膜をいただき今、2人の患者さんの目が見えるようになって居ります。80、90才になった角膜でも、表層だけ頂けますと助かる患者さんがございます。

日本など先進国の失明の原因は1990年の厚生省の統計によると、糖尿病性網膜症がトップで、次が緑内障、白内障、網膜色素変性症の順になって居ります。発展途上国では、失明原因のトップは白内障が55%、次がトラコーマ、次が緑内障あるいは網膜疾患、ビタミンA欠乏によりおこる角膜軟化症は2%との事です。白内障というのは水晶体が透明であるべきところが濁って目が見えなくなる病気ですが、最近では手術の進歩により、手術用顕微鏡を使用して、冷凍凝固(-70℃)により全体の水晶体を取り出したり、超音波で碎石機みたいにチップで核を砕いて中で吸ってしまう手術法があり、取った水晶体のかわりに人口水晶体を埋め込む方法が出て来ました。

次に定期的に眼科専門医の診察が必要な全身疾患としては、糖尿病、高血圧症、多発性硬化症、アトピー、ベーチェット、デヴィック病等があります。最近問題になって居るのが多発性硬化症で、脱髄性変化が視神経にも起こると目が見えなくなります。千葉県にも結構頻度が高く見られ、手足がしびれるとかの中枢性の症状に加えて視力障害を訴え緩解と再発をくりかえします。アトピー性皮膚炎では白内障や網膜剥離が起こります。ベーチェット病はブドウ膜炎、デヴィック病も多発性硬化症と同じように考えていいと思います。中毒としては、アルコール、シンナー、タバコがあり、ここ何年間で高校生のシンナー中毒、あるいはアルコール、タバコにより視神経を侵され失明に至った状態で大学病院に入院している方々もありますので気をつけて頂きたいです。また抗結核薬のエサンブトールやステロイド薬を長期服用しますと白内障や緑内障になる事がありますので注意して下さい。

糖尿病は網膜症を30~40%の頻度で起こし最近では失明原因の第1位です。単純性糖尿病性網膜症は良性で年に1~2回経過観察だけでよいのですが、2番目の段階の前増殖期と云うのは一番治療に大事な時で、



We Serve

いわゆる綿花様白斑が出ています。増殖期に移行する非常に危険な時期で、この時期に光凝固の治療をしないと増殖期に進行して失明となるのを防げるわけです。ですから如何に定期的な眼科検診が大切であるかがお解かりになると思います。増殖期になるとだんだん硝子体も出血して手に負えなくなり失明いたします。最後に緑内障ですが、大きく分けて二つのタイプがあり、一つは閉塞隅角と云い症状がかなり急激で、充血や頭痛を訴え発見しやすいのですが、第2の開放隅角緑内障と云うのは、いわゆる水を作って出て行くところがまだ開いているのですが、機能が落ちている状態で、非常にじわじわと進行いたします。症状もなく、ある国立大学の工学部の先生は60才ぐらいで視野が4分の1以上欠けて初めて気がつかれたとの事です。このまま放置すれば失明してしまいます。自覚症状が余り有りませんので、いつも勧める方法ですが、片目ずつ目を隠して何かを見て、どこか見にくいところが無いかと云う試みを時々された方がいいのではないのでしょうか。安達先生も朝起きたとき、この方法で、「あっ、まだ目は大丈夫だ」というような事を時々やって居られるそうです。要するに視野の欠損から始まり頭痛も何も無いので、40才を過ぎたら眼科検診を時々やって頂きたい思います。閉塞隅角緑内障の例ですが、吐き気と頭痛に耐えられず千葉大内科に入院され、眼科に回された85才のおばあさんは両眼68mmHgという高い眼圧で急激な緑内障の発作でしたが治療により失明をまぬがれたとの事です。

以上安達教授のご講演を要約させて頂きましたが、物がよく見えて健康である事の如何に有難いかがしみじみ解りました。どうか皆様も定期的な眼科検診をされて眼を大切に頂きたく存じます。一方視力障害の有る人々の悲しみは計り知れないものがあると思います。角膜移植を待つて居る人々も沢山居られると云うお話を安達教授から伺い献眼登録の大切さもわかりました。盲人福祉の問題も含めて何かアクティビティ案がございましたらどうか御教示下さい。またもし出来れば各L Cの例会で、メンバーの医師、またはその地域の内科医、眼科医による専門的な卓話の会を開催して頂き、より認識を深めて頂きますれば幸甚に存じます。



YEサマーキャンプの報告 1991.8月4日(日)～8月6日(火)

県立富津公園富津岬荘にて

地区YE委員長 L. 望月 武峰



富津、黒坂市長の後援を受け東京湾と美しい緑に囲まれた富津岬荘にて2泊3日のYEサマーキャンプを行いました。来日生18名は、アメリカ4名、カナダ3名、イギリス、フランス、ドイツ、オランダ、フィンランド、台湾各1名、ハンガリー5名と9ヶ国にも及びました。2年前にライオンズクラブが結成し初めて来日したハンガリーYE生は、333-C地区の特別招待生です。YE OB生22名も加わり、賑やかで楽しい宿泊でした。開会式には、富津市助役、吉田ガバナー、竹内総務委員長、田久保運営委員長また、松本RC始め地元5Rの各クラブの皆様、ホストファミリーの皆様にご出席頂きました。式後、プール、夕食、ゲームと続き、2日目は、絶景かなの東京湾観音、緊張しあとですっきりした1時間の座禅体験、マザー牧場での歩け歩きの自由時間、満腹になったジンギスカン、楽しくおいしいスイカ割りや花火、風船を使っのバレーボールは大広間で夜11時30分迄続き、その後も会話がはずんでいました。翌日のプールでは、ハイレグ姿に目の保養。盛り沢山の中に閉会式となりました。みんながとても親しくなり、来日生のストレスも解消し、最後になっても住所・電話番号を聞き合い「必ず連絡してよ」と男女国籍関係なく、約束して記念撮影。アメリカの男子の弁、「すごく楽しかったよ。でも2泊で6時間しか寝てないから、もう1日続いたら病気になっちゃうよ。」彼、車に乗った途端、ぐっすりおやすみでした。愉快的な親善大使達でした。

YE OBの皆さんの企画力、実行力、英会話力には、すっかり感心と共に感謝します。地区役員の皆様、御苦労様でした。バスを運転の送り迎え、観光にと奉仕して下さった元YE委員長松本RC、保科YE委員を始め、地元5Rの皆様のご協力に深く感謝致します。差し入れ等、有難うございました。心の触れ合いを通して苦労が報われるYEプログラムに病みつきのライオンが又、増したようです。つつがなくサマーキャンプも終わり、これからもYE生を通じ国際親善の為、御理解ご協力をお願い致します。

台湾省台中市ボーイスカウト交流会に参加して

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長

L. 楠 岡 巖 (四街道LC)



ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区第 3 R 第 1 Z 1990~1991 年度のボーイスカウト台湾派遣隊の支援決定を受けて、ゾーンアクトの実施となる。

台湾との交流は、佐倉 LC が台北市台北ノース LC と姉妹提携を結んだことを契機に、1 人でも多くの青少年を海外へ送り出し、肌身で文化・習慣・人情に触れさせようと一昨年スタート、第 2 回目を印旛地区内、成田、佐倉、四街道、富里、酒々井、5 市町村のボーイスカウトの選抜メンバー 35 名とサポート隊 5 名、LC より L 楠岡が参加した。

1991 年 8 月 8 日 NW 航空 01 便台北行、ボーイング 747 型機は乗客 382 名、乗員 16 名を乗せ、18:30 分成田国際空港を離陸、22 時 15 分台北国際空港着で訪台、時差 -1 時間、台北ノース L. C. 丁会長外 6 名のお出迎えを受け、2 階建観光バスで高速道路を台北市南海路の教師会館へ 24 時着く。翌 9 日 1 行は台北駅より特急列車で 2 時間 10 分で台中駅へ到着した。出迎えのスカウト達と台中市中正露營区と言うキャンプ場へ、約 40 分で到着する。午後 2 時より約 100 名による台湾、日本の合同キャンプの開村式に臨んだ。

文化も言葉も違うスカウト達はキャンプファイヤーを囲んで、鬼を追い出す踊りや、友愛の握手、ほめる拍手、ドジョウの歌、竹棒のダンス、へビの踊り、「ジョウトウ、ジョウトウ」と火を囲んで楽しいスタンスがつづき、最後に拜む祈りとみんなで手をつないで今日の機会を利用してあしたの成功を作りましょうと歌って二泊の合同キャンプはガールスカウトの支援を受けて終了する。

11 日いよいよホームステイ先の家族との昼食会に参加するため、省立台中高級工業職業学校に向った。同校は昭和 13 年日本人の校長先生が創立された学校、生徒数 3,300 名、うち女生徒 300 名、教師 360 名で

13万平方メートルの敷地、会場の講堂には歓迎日本国千葉県童子軍と切り文字で作られ、両国旗スカウト旗、校旗を立てて迎えていただいた、会場の講堂には31インチの大型ビデオが用意され、カラオケも備えられて日本の歌、台湾の歌をテープに合せて歌いながら、学校で用意された心づくしのおいしい食事をいただき、日本語の上手な林先生の司会で始まり、傳元湘校長先生は「みなさんが本校に来ていただいたことは大変嬉しいことです。こちらでは国民学校、中学校、小学校、高等学校の中にスカウトがあります。スカウト活動の盛んな国は裕福です。この度の交流によって他国の色々の事を学んで、世界平和の為に力をつくして下さい」と歓迎のあいさつを述べられ、記念品の交換が行われたあと、それぞれのホームステイ先へ。

12日の夜は日本側による感謝パーティを台中市民権路の台湾中區郵政管理局近くの欣欣餐廳で催した。

岡田清三郎副コミッショナーの司会で始まり林先生の通訳で台中市政府教育局局長、廖萬清、ホームステイ先の各家庭、そして台中市中正露營區の金隊長以下7名へそれぞれ感謝状と記念品が千葉県ボーイスカウト連盟理事長、池内貞夫団長より贈呈された。さらに国旗の交換等、一行の中で3名の誕生日を迎えた方のお祝いもあり、大変たのしく語りあっていました。その時1人の若い学生が「カタコト」で「LCのメンバー」だと言うので通訳を介して「いくつか」



聞くと「18才」と答えた。それは日本のLCの中でのレオクラブであることが分った。男2人女1人と話すことが出来た。台中市の中で10年前に台中仁愛小獅会が出来、現在25名で活動しているとの事、50個持参した「光り虫」を近くにいた人にも差し上げる、話しのつきない楽しいパーティは山田龍雄海外交流委員長のお礼のあいさつで20時15分終了。今晚は酒のない席だったのでホットする。台中のホテルは台中立台中港路の全国大飯店で泊る。

13日いよいよお別れの日蔣介石のお孫さんが理事長をしている私立宣寧高級中学校へ10時集合、幼稚園から大学まであり8000名との事、魏驥培校長先生は「このチャンスを利用して永遠に仲良くなることを希望します。友情を永くつづけて、どんどん日本のボーイスカウトのみなさんが来ていただきたい。我々のうまくいかなかったことはみなさんたすけていただきたい。日本国のみなさんと深く知り合い、日本国と台湾省との間の関係がライオンズクラブとボーイスカウトを通してより良くなるものと思われます。この機会を大切に、手紙のやりとりをして、この活動が永くおこなわれることを希望します。今回の交流会が無事故で成功裡に終わったことに感謝いたします」と述べられた。用意された飲物や、軽食をいただきお別れの時間となりました。玄関先でバスに乗る前、全員がならんで握手、多くのスカウト達やホームステイの家族のみなさんと涙を流してのお別れに目がしらをおさえ頬をぬらす。通訳の女性の胸に「Lのバッジ」があるのに気づき、聞いてみると、主人が長年ライオンズクラブのメンバーとして活動しているとのこと、残念ながら



We Serve

お名前をきくことが出来なかった。

市内見学の途中寶覺寺でパンクの修理に時間を取られたので予定を変更して高速道路を北上、途中小人園と言う、観光地等を小さくした所を見学する。14時桃園インター近くの唐城餐廳で昼食後高速道路を台中市内へ向う。のろのろの日本の首都高速道路のような市内を圓山飯店を左に見ながら忠烈祠に着き、午後5時、最後の海兵隊員による交替を見る事が出来た。台中市松江路の財団法人、中国童子軍活動中心で買物をする。そして、台北ノースライオンズクラブの歓迎晩会の会場へ。18:15分から始まり丁会長は歓迎のあいさつの中で「佐倉LC 20周年記念式典の時、台湾へ「日本のボーイスカウト」と台湾「ボーイスカウト」との交流を推進することで話し合われ、こうして大勢のスカウトのみなさんが交流を深め国際親善に努められたことは大変意義深いことであり、大変嬉しいことです。これからもずっと続けて来て下さい。歓迎しますと話されました。300-A 2地区第2Rのリジョンチェアマン、L. 季の乾杯でパーティが始まり、記念写真をうつしたり、記念品のお土産までいただきました。70才のL. 張針は日本の早稲田大学に学び、習志野の汚ない兵舎に寝泊りし、教練の時、なぐられた事が今でも忘れられないと話され「白地に赤く日の丸そめて」を歌って、若い日の思い出に、ひたっていました。ノースLC 17名のもてなしに感謝いたします。

14日13時にNW 2便で全員元気で大勢の出迎えを受け成田空港に無事到着しました。7日間にわたる交流会は、荷物にならないお土産と多くの友達と親睦を深める事が出来ました。

ライオンズクラブの組織の中で、世界の人びととの間に相互理解の精神をつちかい発展させることを推進させようと言うことですから、国家間の交流も大事ですが、国境を越えての、小さな外交官による個人や、民間レベルでの国際交流を広げ、世界平和のために努力することが大切と思います。

LCの数あるアクティビティの中でも青少年の海外交流は価値あるもののひとつであると痛感致しました。

21世紀のいない手を立派に育てるために、このような交流会が333-C地区内のゾーンで活発に行われるよう希望します。

台北でも台中の市内でも横断歩道橋に大きく次のように書かれていた知法守維護人類權益、充實防火知識、注重消防安全

1992年の夏台中スカウトの幹部数名が印旛地区キャンプに下見を兼ねて来る予定との事、それを受けて93年の千葉県ジャンボリーに40名程のスカウトが初めての外国への訪問として我が印旛地区に訪日される予定と聞いて帰りました。

ライオンズクラブ国際協会75周年記念行事がバンカー国際会長を迎え、世界各地から50名の青年の代表を集めて「世界平和と人類の繁栄のために」をテーマに、京都で開催される意義ある年に、このすばらしい合同アクトが実施出来ましたことを、ゾーン内8クラブのメンバーに紙上をおかりしまして心からお礼を申し上げます。有難うございました。最後にスカウト活動の指導者兼通訳をされた台中市立建功国民小学校長、陳圳元様と台湾側ツーリストの添乗員、日本国内添乗サービスの資格をおもちの陳偉光様に心から感謝申し上げます。

リジョンの頁

1 R

市川 LC

前年度市川ライオンズクラブ 30 周年記念事業として、メダン市の大学生奨学金支給制度を設定致し、今期 8 月奨学生 4 名に第 1 回目の資金を送付。

今後毎年 4 名ずつ選考し、奨学資金を支給して行く。



下総中山 LC

我々の住む下総中山と言う、船橋の西に位置する町を簡単に紹介致します。中山には歴史的にも有名な日蓮宗の大本山が有ります。現在は修理中です。(約 800 年前に建立) 国宝、重要文化財があります。又 JR 下総中山駅を中心とした東方には競馬で全国的に有名な中山競馬場がある。我々が子供の頃 (30~40 年前) には、町内の高台に行くと、西には富士山、南には、東京港が目に見えました。海から中山方面を見ると、第二次大戦で有名な行田の無線塔がみえたのです。この塔には赤の信号燈が、いくつもついており、夜の海の日印になっていました。行田の無線は (ニイタカヤマノボレ) の電文で有名な旧日本軍の無線基地です。

現在は解体されて、大きな団地になっております。

下総中山ライオンズクラブメンバーの構成は市川市の北方・行徳と船橋市の本中山・西船橋・海神とで成立っております。市川市・船橋市の両市に接する位置だからです。門前町というの関係から下総中山ライオンズクラブは、当地区では、子供大人の相撲がかなりさかんに行なわれておりました。したがって、当クラブの有力アクティビティーは、地元柔友会 (柔道) 消防団の協力をえて、わんぱく相撲を開催致しました。(7 月 21 日には地元本中山 1 丁目児童公園にて選手 280 名 (内女子 60 名) を迎えて、又両市の市長ならびに教育委員会、地元名士、ライオンズクラブ関係においては、333-C 地区 1 R の役員の方々のご出席をいただき第 14 回わんぱく相撲大会を行いました。この相撲大会の目的は『心でみつめる奉仕の輪』…今年度の会長のスローガン (青少年育成) です。



浦安 LC

第 74 回 ライオンズクラブ国際大会に参加して赤道を越え南半球オーストラリア国、ブリスベーンにて世界各国から 86 ケ国が参加して国際大会が開催されました。浦安 LC は L 篠原一彦を団長として総数 18 名 (内 4 名はレディー) は J A L 777 で 6 月 16 日 21 : 30



We Serve

成田を出発し翌17日無事ブリスベーンに到着しました。開催国のライオンズメンバーが出迎え入国手続きも特別の計らいでスムーズに入国が出来ました。

翌18日は絶好の大会日和、上空より飛行機が旋回し数百米上空よりスカイダイバー8名が色とりどり、天女にもまさる光景で全員パレードスタート地点に着地し、観衆は拍手喝采、いよいよパレードがスタート、世界各国から集まったライオンズの祭典であります。

当クラブメンバーも各国のメンバーとピン、バッジ等の交換そして記念スナップ、様々な言葉で交す挨拶、ライオンズならではの国際交流でした。

その後当クラブメンバーは、観光を主体にメルボルン、フィリップス島のペンギンパレード、普通より小さい体で海から自分のねぐらへ帰る行列、とても可愛い小さな姿が印象的でした。シドニーではオペラハウスを観たり、ショーボートで楽しくショーを観ながら食事もし、そしてショッピング等各メンバーはそれぞれ楽しい思い出をつくりました。

6月23日17:00全員無事に成田に到着帰国しました。浦安LCは毎年10名以上は国際大会に参加していますが、今回皆様のご協力により18名が参加され会長としての国際大会参加も無事に終る事ができ感謝の気持ちでいっぱいです。来年の香港大会も多数の参加を祈念申し上げます。



行徳LC

私達の地元行徳には、伝統的なお神輿作りのお店が、あります。そのなかでも最たるものが、室町時代より神輿制作500年余の歴史を誇るのが、本行徳の「浅子神輿店」16代当主浅子周慶氏率る浅子一門が、心血をそそいで作り上げた総制作費10億円と言われる深川八幡宮の御本社神輿。そのお神輿の納受式、御船渡御に行徳ライオンズクラブの一員としてご招待を受けました。当日(5月26日)は朝から快晴。まず午前7時より納受式が浅子神輿店でとり行なわれると、いよいよ御船渡御のはじまりです。なにしろ重量が4.5t~5tと言われ船に積みこむまでが一苦勞、やつとの思いで船に積みこむといよいよ出発です。15隻の船団を組んで江戸川を下り葛西沖に出る頃、風が少し出て来て船が右に左に傾むくと金色の鳳凰が太陽の光に反射して目もくらむ位まばゆい。やがて船は隅田川を上り永代橋のたもとに着く。そこで又クレーンに吊されて地上におろされる。ここからは3000人の担ぎ手が7部会に分かれ6交替で一度に350人の肩が入り富岡八幡宮に伺います。お神輿が永代橋にさしかかる頃にはクライマックスに達し沿道はあふれるばかりの人、人又人の波。私達もその中程を裃姿で進んで行きます。新川から1時間30分程かかって約2キロの道のりを行き富岡八幡宮の門前にさしかかった時にはもう身動きの取れない始末。ここで解散となりましたが、なにはともあれ古き良き伝統が失われてゆく時代に一生に一度巡り会えるかどうかの大きな行事に参加が出来たと言うことは感慨も一しおで幸せでした。

市川北LC

和と友情で楽しいクラブ運営を合言葉にクラブ発足時の原点にかえり全員頑張っている。緑多き市川北部に狐々の産声をあげライオンズ仲間入りの時点より青少年育成には特に力を入れて明るい青少年が育ちます様に支援していきました。特に毎年継続事業のライオンズ優勝旗

少年野球大会

少年サッカー大会

女子フットベースボール大会

献血 等です。

試合でベストに勝残り決勝戦で優勝旗をかかげた子供の笑顔は甲子園の高校野球の勝者の笑顔とも同じで共に未来の夢が輝き素晴らしいものです。どんな苦労してでも今年も育成運動を盛大に運営していきたいと全員協力仕合って頑張ります。

献血は市川北部の環境の良い地に勉学する高校の学生さん、少年大会に御支援を下さる御父兄の皆様、地元におこしの皆様の協力で大野駅前、高塚マルエツ、市川北高、等の場所をお借りして行って居り、日赤さんも喜ばれております。資金はクラブ員のドネーション、オークション等で会員も少ないので苦労されて居ります。

今年は空畑にサツマ芋を植付け秋の収穫時に芋堀り大会を計画しその利益を資金の一部に致します。

松戸東LC

我がクラブは今年10周年を迎えることになりました。

今年のスローガン「忠恕の奉仕」は、己を推して他人に及ぼす真心思いやりと赦すことの出来る豊かな心をお互いに持ちながら、奉仕をしたいと願っています。

又10周年の節目を機に新旧メンバーが横一線に並ん

で、「みんなで創ろうみんなのクラブ、みんなの協力で楽しい例会」を合言葉にしています。

初心にかえって我がクラブが、より一層国際社会における役割の端を担うと同時に、地域社会において一層存在価値のある奉仕活動を行う事が出来るよう努力する所存です。

クラブメンバーの理解のもとに、来年1月11日に実施を予定している10周年記念行事の特別委員会を中心に、最高のアクトといわれていても我が松戸市では少々無理があるかと懸念しておりますエクステンションに取り組み、11月24日の結成式に向けて委員長を中心に各委員の方が必死に努力をして着実に進行しております。

一方我がクラブが最も力を入れております青少年の健全育成、特にYEの資金獲得の為、9月13日牛久市金乃台カントリークラブの御協力をいただき、第7回青少年健全育成チャリティゴルフ大会にむけて、実行委員会一丸となって準備におわれております。本年は盛りたくさんの事業をかかえて、ライオンズクラブ向上の為、渾身の努力をして参ります。

関宿LC

雲仙、普賢岳の火砕流被災地へのお見舞い。

表記の件につき、約千枚のパンフレットを作成し、クラブメンバー手分けにて、関宿町各区長さんを訪ね、町全世帯に回覧にて義援金、義援物資の提供をお願いした結果、義援金175100円、義援物資については、夏がけふとん、タオルケット、タオルを中心に約1000点の善意物資が集まり、被災地である深江町当局に送金、送附した。



We Serve

写真は荷づくりした義援物資の山とメンバー各位。
左から2番目が富沢昇会長。



柏中央LC

7月15日(月) 柏市、トーランス市交換学生及び来日YE生の益子一日ホストを行い、当日朝8時に約50名の参加者を乗せてバスで柏市を出発、現地栃木県益子に10時30分到着。さっそく鱒釣りをを行いその後昼食もかねて、もちつき大会、来日YE生も一緒にもちつきを楽しみました。初めての経験で杵をもちに取られ杵が上がらず、谷口会長の助け舟でおいしいもちのできあがり、その後場所を移動して、益子名産の焼物に挑戦し日本のお土産の記念品として、絵皿を作りました。夕方5時30分に柏市に到着。事故もなく愉快な一日を過ごしました。

柏 LC

柏市は、1973年柏LCが仲立ちして、アメリカ・カリフォルニア州トーランス市と姉妹都市になりました。両市は、毎年夏に青少年交換プログラムを実施しています。この交換制度は、多感な青少年期の国際理解を深める目的に添って、多くの成果をあげてきています。当柏LCは、積極的にこのプログラムを推進し資金援助を行っています。また、7月納涼例会に両市の交換生を招待しています。この例会には、市内他クラブに来柏中のYE生も招き、国際色豊かな、そして、日本情緒を味わうことのできる思い出多い機会になっています。



印西LC

印西LC主催ゲートボール大会も回を重ね、第5回目を迎えました。

7月23日、梅雨も明け暑い一日でしたが、近隣の審判員、役員の皆様の協力のもとで、朝7時30分より、40チーム、280名とLCメンバー全員参加の大盛況で行なわれました。

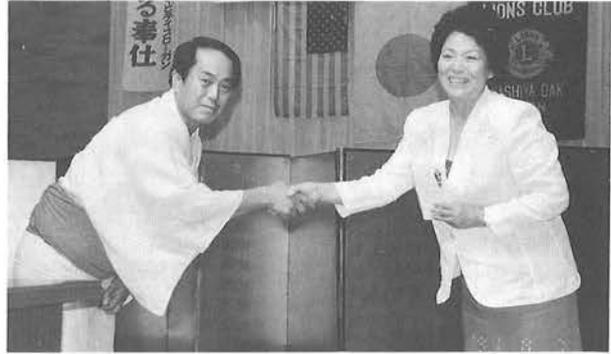
町長を来賓に迎えての開会宣言の後、熱戦をくり広げ、今回は、LCメンバーから2チーム出場し、午前中は予選、午後は決勝ラウンドが行なわれ、お年寄と一緒に、楽しくプレーをし、上位4チームにカップとメダルが手渡され、手にした方々は非常にうれしそうでした。

柏オークLC

みどりの会(柏市肢体不自由児を育てる会)は家族の一員

柏オークLCでは、3代目の田中会長ライオンが、柏に体のご不自由なお子さん達を福祉作業所で手作業をしながら教育されているみどりの会があるので、ぜひオークLCでも協力したいとの提案があり、それ以来、毎年、夏の納涼例会とクリスマス家族例会に、みどりの会の会員を親子でご招待し、助成金としてクラブから各20万円年間40万円を毎年贈らせて頂いております。写真は去る8月7日の納涼家族例会での滝本会長の挨拶ですが、滝本会長は「私達の会は来年ようやく法人化にできる見とおしになりました。柏オークさんには長い間家族のように協力して戴きありがとうございます」と涙を浮かべながら、挨拶されておりました。みどりの会へのアクティビティは今年でまだ5年ですが、会の皆様にこんなに感謝され、柏オークの会員も一同に胸が熱くなり、あらためて今後も継続して協力しようと思いました。

来年の法人化にはまだいくつかの問題があると思いますので、皆様にもご協力を頂ければ幸いです。



柏LSC

柏ライオネスクラブは昨年の3月に結成されました。会員はライオンレディーではなく、一般の主婦、サラリーマンの奥様が多く皆様素晴らしい個性を持っていらっしゃいます。日本舞踊、書道、英語、体育、そして手芸などの先生、福祉関係、環境問題のエキスパートなどなど素晴らしい方々ばかりです。

昨年の活動は目を見張るもので、金銭ACT、労力ACT共に立派な実績を残し発足して日が浅いクラブでもこのように成果をあげることが出来ました。

労力ACTは献血のお手伝いです。献血にいらした方達にきめ細かいあたたかい対応も女性ならではの接し方だと思います。会員一人一人が忙しい時間をさいて全員が参加することです。そういう活動が会員同志の連帯を生み、信頼と友情が生まれて来ます。

将来は会員の個性と特技の組合せで素敵な労力ACTが出来るのではないかと期待しております。

親クラブの柏ライオンズクラブを初めライオンズクラブの皆様よろしく御指導おねがいたします。



We Serve

活動するライオンズ

浦安シーサイドLC

愛のボトル

本年度の我が地区ガバナー吉田政勝氏は「アクティビィの充実、発展」を希望されております。

又、我がクラブ本年度会長 大須賀稔氏も「楽しい出席、仲良くアクト」の方針を打出されております。我がクラブは5周年行事が終了したばかりの新しいクラブですが何かニューアクティビィを開始したいと一生懸命考えた末に上記の「愛のボトル」を約3年前より始めました。

題して「一期一会」：「一円5円一会」瓶 一円玉、5円玉の少額通貨をこの瓶の中に入れてもらおうと考えたのです。瓶は市内のスーパーを始め飲食店、喫茶店、ホテル、各企業、各家庭、市民の集会場所等などをお願いして置いていただきました。

満タンになった頃を見計らい回収に廻り、浦安市社会福祉協議会に寄付をするというものです。

アイディアは比較的スムーズにまとまりましたが最初の難関は瓶の生産でした。大変な苦勞の末ニッカウイスキー(株)の特段の御協力により写真の様な立派な瓶が800本出来上がりました。

次はその配布と回収作業の奉仕であります。我がクラブのNEW ACTとして始めた訳で有りますのでクラブ全員でかかわりましたが、これが又大変な作業でした。配布期間中に消費税制度が開始され効果が疑問視される事も有りました。

しかしメンバー全員が協力してACTを行うことが大切な事だと思いますし結果の大きさも充分なものであります。現在までにこのアクティビィで浦安市社会福祉協議会へ寄付された金額は ¥1,000,000-を越えてお

ります。

特に別紙写真の例で申しますと、御協力いただいたこのお店は幼稚園、小学生を対象のファンシーグッズの可愛らしいお店であります。そのレジの側に置いていただいた結果がこれであります。子供たちが買い物のお釣りを入れてくれたものです。この瓶1本で約¥10,000-あります。

老若男女を問わず不特定多数の一般市民の方々の賛同と協力を得て行うACTは大きな結果をもたらすものだと思っております。人々の善意は時間と共に確実に積みかさねられて参ります。

その一つ一つがどんなに小さなものであっても尊いものだと思います。

私達浦安シーサイドライオンズクラブのメンバーは非常に多くの人々の真心の集結のお手伝いをさせていただいているのだと思っております。道に落ちていても拾う人も無い、1円玉、5円玉がこうすれば力となります。

ACTは一步ふみ出さなければ何も生まれ無い、何の結果も無い、とにかく一步ふみだすのだ !!

一步ふみだしてやってみようとおもっております。



船橋中央LC

中国の著名な書道家でエリート教育機関「少年宮」の師範 毛彩庭、上海師範大学名誉教授（53才）を招聘して平成3年7月9日～14日迄、船橋市勤労市民センターにて書道展を開催しました。

来日のきっかけは1987年8月、船橋市制50周年を記念した「日中友好少年の船」が、上海の「少年宮」を訪問してから、毛先生との交流が始まり、子息毛奇氏（中国画家）の留学をクラブでお世話しており、そのご縁で、この度、日中書道交流の話が進み、書道展の開催となりました。この機に市内小学校、高校で実際に筆を取って生徒たちに指導していただきました。

展覧会には大勢の市民がつめかけ、鑑賞して戴くと共に、その場で希望の字や詩を書いて戴き、交流を深める事が出来ました。



船橋ポートLC

船橋産業まつり江戸みこしの後援

7月21日、船橋駅前通り及び本町通りに於いて、産業まつりの一貫として、江戸みこしが催されました。例年通り各団体と協力し、今年も盛大かつ和やかにみこし

がくり出され、好天を呼ぶもみ出しとなりました。また、江戸みこしには姉妹都市の北海道津別町よりも例年通り参加され、その日の勢いの一端として一日中、声を上げ、かつぎ祭の担いでとなって頂きました。年を重ねるごとに市民の活性を増し、津別町との交流も深められていくように感じられました。現在参加されている子供達にも長く引継れますよう希望したいと思います。





We Serve

習志野LC

肢体不自由児の水泳教室と海水浴

ラッコの会水泳教室の海水浴は、我が習志野クラブがもっとも力を入れて実施している継続事業の一つであります。14年前から行っている肢体不自由児の水泳教室は年間を通じて毎週日曜日の朝の訓練、夏休み期間の内10日間、毎日訓練をしています。子供達の父兄そして我がクラブメンバーも参加しております。こうした訓練をご指導下さるのは東邦大学の先生と学生達です。初めて水に入る子供の指導からかなり上達した子供への指導と大変お世話になっております。水泳教室に入ってきた子供たちは、一年もすると見違えるほど明るくたくましくなって来る姿を見るのも私供の楽しみの一つであります。こうして普段から水に慣れ、泳ぎ等の訓練をしている子供達は、10年前から実施している年に一度の海水浴を大変、楽しみにしているのです。今年度の海水浴は、ラッコの会の子供25名とその父兄、東邦大学の先

生と学生(5名)そしてクラブメンバーの計75名で7月13日~14日の2日間、岩井海岸へ行って来ました。時期的な事もありますが、余り天候に恵まれませんでした。彼等の熱意で、活気ある海水浴になりました。子供達や父兄の方々とのコミュニケーションは、前夜のキャンプファイヤーを囲み花火、ダンス等で始まります。翌日は、10時頃から浜辺へ行き、子供達は早速、海へ入る準備をし、嬉しそうな顔をして父兄とともに海へ入り泳ぎ始めます。普段はプールで水に馴染んでいる子供達も、はじめの頃は海を怖がる子供もいます。こうして子供達が遊んでいる間に私供は、昼食の準備等それぞれが慌ただしく動き廻るのです。この日のメニューは豚じる、焼きそば、おにぎりです。皆んなで楽しく作り、楽しく食べながらの団欒がこの海水浴の目的の一つでもあります。昨今は継続事業の見直しが話題になるが、ご紹介したように、この事業は大変充実した事業の一つなので、習志野クラブとしては、これからも継続していくつもりです。



千葉ポートLC

L. 立石忠彦（島原半島 国見町出身）

父ちゃん、もう学校は止めにゃんとね

— 雲仙普賢岳被災義援金募金活動 —

「父ちゃん、もう学校は止めにゃんとね」仕送りで学校へ行っている子供が古里へ帰った最初の言葉です。学校は続けてやりたくても、家族の生活の道すら絶たれた現実に、親も子供も絶望のどん底に立ちすくむばかりで、これから大学に行くのを楽しみに夜も寝ないで受験勉強してる子にも、もう学校はあきらめろとは親の口からは言えません。どうかこの有様を解って下さい。災害にあった多くの人たちが難民同様の苦難に陥っていると言うのに国の対応は、現行法の範囲内で、真剣に討議して、弾力的運用でと曖昧な返事ばかり、こんな救済ひとつ出来ないで、それでも世界一の金持ち国日本と言えるのですか、、、、これは被災地から国会陳情に上京した代表者の一人が地元選出の国会議員を前に述べられた悲痛な叫びです。同じ子を持つ親の一人として、その気持ちが痛いほど解ります。雲仙は日本で最初に国立公園に指定されたところで、私にとって四季折々の思い出が詰まった青春の山であり、学校の行き帰りにいつも仰いだ「有難きかな古里のお山」でありました。そのお山が島原、深江の一角を火山灰に呑込み一瞬にして多くの人命を奪い、住まいも田畑も、がれきの下に埋め尽くしました。被災地の人たちは、いつ襲うかも知れない火砕流、土石流におびえながらの不自由な避難生活を強いられ、個室も無く、風呂用便にも事欠く体育館暮し、いつに成ったら終わるのかさえ解らぬ苦難の日々、生活の手段を失い、この先の希望さえ見いだせない人たち、国の救済は遅々として進まず、苛立ちながら全国から寄せられた義援金の支給で喰いつないでいる人たち、いたいけな子供達も居るのにとすると、じっとしては居られない気持ちです。千葉ポータルライオンズクラブのメンバーに持ちかけたところ、

「よしそれでは千葉の駅前で義援金募集をやろう」と言う嬉しい答え。7月1日にメンバー4人と地元出身者の一人を加えた5名で、声を枯らしてのアクト資金獲得活動を行いました。最初の内はどうにも不慣れの上に、照れくさいのもあって、なかなか大きな声が出せません。朝の通勤時間とも重なって行き交う人の関心も、いまいち手ごたえが無く、この分では用意した看板代にも成らないかと落胆しました。しかし人の心は有難いものです。我々の呼掛けに応じてくれる人が一人増え二人増え、首に下げたチャリテイボックスがだんだんと重さを感じる程になり、わずか4時間で、なんと155,118円もの義援金が集まりました。この事を7月の例会に報告しました。



すると「今度はメンバー全員でやろう」と言う事になり再度7月13日、梅雨の合間の蒸し暑い日にもかかわらず、クラブメンバーの大半が、ライオン帽に身を固めて千葉駅前に集合しました。今度は既に経験者も居ることですし、それに人数も揃っています。手際よく分散して早速大声を張り上げての募金活動です。有りったけの小銭をみんな募金箱に入れてくれる人、千円札で募金するひと、中には五千円を気前良くぼんとさしだす人もいます。みるみる内に募金の箱が重くなります。高校生が「今日はジュースはあきらめた」と百円玉を入れてくれます。「有難う。悪いね。今日はきっと良いことがあるよ」と言うと、はにかみながら、白い歯を見せて笑い掛けてくれます。募金を呼びかける方が、じいんと来て思わず目頭が熱くなります。十七、八才位の女の子が「あっ雲仙の募金やってる。ちょっと待ってて、銀行に行ってくる」と言ってわざわざ募金に戻ってきてくれた



We Serve

のには本当に感激しました。とかく人情が薄くなったとか、心が無くなったとか言われる昨今、けっしてそんなことは有りません。NHKや日赤の呼掛けで集まった義援金はなんと90億円にも成ったとか。こんなに多くの人が何の見返りも求めず、困った人たちの為に身銭をきって協力して下さいます。募金を呼びかけてるメンバーも「良いことをするって実に気持ちが良いね」とみんな何時になくすがすがしい顔をしています。「労働奉仕こそクラブのモットー」と教えたライオンズの先人の心にふれる思いがします。この日は380,172円の尊いお金が集まりました。こうした活動もライオンズクラブであればこそ出来たこと。如何に我が古里の為とはいえ、私個人で呼びかけてもこんなに集まるはずもありません。ご協力頂いた市民の皆様とクラブメンバーに本当に心から感謝します。集まったお金は街頭募金以外の分も含めて総額787,953円となり、8月の我がクラブの了解を得て、島原半島出身者で構成され、被災地の方々の救済の東京での窓口に成って活動する「南高会雲仙普賢岳被災義援金基金」の口座へ入金させて頂きました。

市原南LSC

チャリティーお茶会の収益金を寄贈

第二回チャリティーお茶会を催し多数の参加をいただき、市原南ライオンズクラブの後援のもとに盛会のうちに終了することが出来ました。



旭 L C

新設されました千葉県立東総文化会館の完成記念として旭市民ひろばへ記念植樹をしました。



飯岡 L C

36回目という伝統ある町内少年野球大会に、今年も金銭アクト、労力アクトで協力しました。

私達が子供のころ、野球をするとよくドンマイという言葉を使いました。英語か日本語かもわからずチームメイトがエラーをした時とか、ピッチャーが打たれた時によくはげましの意味をこめて使ったと思います。

その言葉こそが、ライオンズに通ずる寛容と友愛の精神だと思いましたので、開会式の挨拶の中でその意味の言葉を使わせていただきました。



多古LC

国道296号ライオンズ花壇整備

1991年7月7日、午前7時より国道296号染井十字路ライオンズ花壇の整備と追肥。参加25名、12時終了。



木更津金鈴LC

青少年健全育成、ヨット体験セーリング

8月4日クルージングヨットクラブのご協力を得て、木更津市真舟地区の子供会（54名）を招待の上東京湾上でのセーリングを実施。木更津市長、県議、LC地区役員（松本RC、遠山ZC）等のご挨拶をいただき、ブラザークラブ3役の見送りの中、14艇のヨットが次々と出航、炎天下の湾上に白帆を連ねた。軽い船酔いの2名も上陸後は数分で元気回復、LSC会員による昼食接待も12回目とあって手慣れたもの、半数以上がお代わりの大盛況。冷えた西瓜、クイズ等楽しみ乍ら午後2時半無事散会した。



館山LC

事業資金獲得として

8月8日 館山市、夏のメイン行事の花火大会を例会後、屋上で見学し模擬店を出し、花火大会会場に見えた方々に販売しました。館山ネスクラブが模擬店をお手伝いして下さいました。

362,400円の事業資金を獲得しました。



白子LC

8月25日 納涼家族会及び移動例会開催



白子五井海水浴場において、町内の母子、父子家庭を招待して行なわれたこの企画は4年前から引きつがれ8月に開催されている。地曳網を中心に行われ、グランドゴルフ、ビンゴゲーム、スイカ割り等をやり各ゲームに多数のお土産をつけよろこばれた。バーベキュー、やきいか、やきとり、焼きソバ、カキ氷等はすべてバイキング方式にて行い、朝9時から午後2時半まで楽しい1日



We Serve

を過しました。町内の母父子家庭（80名）
参加人数 250名でした。

長南LC

7月31日 午前6時より8時まで、会員23名の協力を得て、長南町保育所前の花壇及びその周辺の除草作業を実施した。早朝の為、大変涼しく、業の能率はよかった。



九十九里LC

7年続けて福祉施設のお年寄りに
思いやりせんべいプレゼント！



ともすると気持ちの沈みがちな皆さんに、煎餅でも口にしながらお茶でも飲んで、明るく楽しく過ぎて下さいと「わかしおあれ」社長阿部倉隆さんは、7年続けて今年も2400袋のお煎餅を九十九里ライオンズクラブを経て町社会福祉協議会に寄贈されました。早速社会福祉協議会では、九十九里地区の皆さんがお世話になっている郡内等の各施設に贈りたくさんの感謝の言葉が寄せられました。贈った福祉施設は次のとおりです。

青松苑、光洋苑（成東町）、北総長寿苑（山武町）、

房総平和園（大網白里町）、山武郡市 広域行政組合老人ホーム（横芝町）、さざんか園（銚子市）

東金LC

東金チーム第8回大会Vを飾る

東金LC杯争奪市内地区対抗中学生ソフトボール大会を市営球場で7チーム参加し日頃の練習の力を発揮して各チームとも良いプレーを見せて好ゲームの多い試合でした。L. 平賀会長 CNメンバーL. 石橋代議士等8名のメンバーが参加して、大会運営に協力しました。



開会式で挨拶するL. 石橋代議士

成東LC

8月6日（火） 午後より会員15名による主要道路のカーブミラー清掃と点検を行いました。日常的なカーブミラーも汚れが著しくなっているのにオドロキました。ガラス面の様にピカピカ、ツルツルに磨き上げ、通行中の皆様にお礼や感謝の言葉を頂き、更に一層の力が入りました。そのアクティビティは、継続事業として引き続けていきます。



アフリカからのお客様

我が浦安シーサイドLC 7月第1例会に、アフリカベナン共和国から珍しいお客様のメイキャップ出席がありました。

ベナン共和国外務次官・大使で、首都 CONTOUNOU のライオンズクラブの会員である ANDER - GUY OLOGODOU 氏であります。

ベナン共和国は、アフリカ西海岸にある細長い国で、面積は日本の三分の一、人口は約四百数十万人ということです。写真の壇上に見られるのはベナン共和国の国旗ですが、普段我々に馴染みの薄い国ですので、その入手には多少の困難を伴いました。

ゲストの挨拶を要約しますと次のとおりです。

皆さん、私はアフリカのベナンから参りました。MR 服部（浦安シーサイドLC）との会話の中で、シーサイドLCの事を聞きまして、皆様にお会いしたくメークアッ

L. 池田 治郷（浦安シーサイドLC）

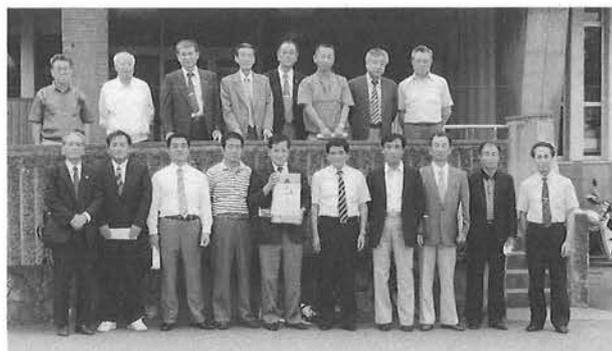
プに参上致しました。私はアンドレ ギ オロゴドウと申します。

このような歓迎を戴きまして、とても感激しています。首都コナンにはライオンズクラブが四つありまして、それぞれが目覚ましく活動しております。どうぞアフリカへ来て下さい。このような歓待は出来ませんが、全員で歓迎します。

どうもありがとうございました。



祝い歌のルーツを訪ねて 多古LCと新潟県十日町LCの交流



1991年6月9日。一本の酒瓶のラベルから。多古で昔から唄われている祝い唄が、十日町市でも祝われていることがわかり、クラブ員17名が観光バスで、333-A地区第5R。第1Z。十日町ライオンズクラブを親善訪問し。600年前より唄われてきた。祝い唄についてルーツを尋ねて話し合い。双方の祝い唄を十日町LC片桐会長。多古LC鈴木会長外全員で唄い合った。

お互いに地域文化の振興に役立てようと話し合った。

これを機会に今後の両クラブの交流をはかっていきたいと思ひます。



We Serve

台湾（的）詩人との交流

詩人 L. 高橋 惣司（東庄LC）

事務局長として

六月十四日から十九日までの六日間、台湾ペンクラブの会長である陳千武氏らの招待で、日本から詩人が十数名が、日月潭を中心に台湾の西半分を回った。

私はその団の事務局長として、台湾側の指定した十六、十七日（この二日間に限っては全て台湾側負担）以外の観光旅程やらホテルの確保やら、バス会社との交渉やらで、五、六月の大半は私的な時間は全く見出すことができないほどであった。

しかし、台湾の詩人たちとの交流は、実に楽しいものであったし、充実したものであった。仮りに「自分史」などと言うものがあるとすれば、『我が人生に於ける輝かしい金字塔』などと表現しても差し遣えないほどの珠玉の時間帯であった。

台湾的についての疑問

台湾は蒋介石総統らが、この島に入って来て以来、急激に「中国化」したらしい。話し言葉も北京語が標準語とされたし、制度的にも思想的にも中国化一辺倒となった。

しかし、これには相当の軋轢もあつたらしく特に北京語の画一化には抵抗が激しかったと聞く。

台湾の詩人たちとの交流は、以前からあったが、彼等の詩集の表紙には必ずと言っていいほど「台湾的詩人」と大きく刷り込まれていた。一見いぶかしく思ったが、言葉があまり通じないせいもあって、深く追及することを怠ってしまった。

何故いぶかしく思うかということ、台湾的ということは、全中国的視野に立った場合、一地方的というセクショナリズムを匂わせたものとなり、狭さを強調しているように思えたからだ。

例えば、日本流に言った場合「沖縄的」とか「北海道的」とかの類で、「田舎的」にさえ思えるからだ。

民族と固有文化

私たちは、台湾語も中国語も同一言語程度の知識しか持ち合わせていなかったが、この二つの言葉は「全く通じない」ほど異質のものらしい。尤も台湾の部族は、俗に「九族」と言っているが、この部族間でも言語も風習も全く違う、と言うことを聞くに及んでは、只々「へえっ／＼」と、驚くばかりであったが……

自国語の取り戻し

かつて、日本の統治時代、台湾の全ての民族は、彼等の自国語を数十年間に亘って奪われている。解放後、彼等は自国語の塾を開き熱心に学習し、やっと自国語を取り戻した。それは熱烈な民族意識の高揚を伴ったものであったろう。その自国語が逃亡者である中央政府に依って再び剥奪されたのである。

しかも衣食住の全てに亘って、切り詰めながら、二百万人もの本土からの逃亡者を、養った拳句の果てにである。

「台湾的」の文字の底に「俺たちは台湾人だ。」言葉も風習も誇りも、全てこの「的」に込められているように思えてならない。台湾詩人との具体的な交流の様や、「詩について」の『よもやま談議』は紙幅の関係で次号に譲りたい。



原油埋蔵量について

2 RPR情報委員長

L. 桜井留治 (船橋京葉LC)

地底に眠っている原油が現在どのくらいあるかは、石油情勢が不安定な折りだけに大いに関心がもたれているが、いろいろなとらい方がある上確たる数字がないというのが実情の様である。地下にそんざいするすべての量が原子埋蔵量で、このうち物理的にほりだすことが可能な量を可採埋蔵量という。原子埋蔵量の30%が物理的に採掘可能といわれ、その量は2兆バレル(1バレルは18リットル入りの缶の約9個分)というのが有力な見方だ。現在の技術とコストで回収できる量を確認埋蔵量といい、これが一番よく使われている。石油会社などが独自に発表しており、1988年末現在で9000億バレル程度とされている。

採掘技術が進歩すれば確認埋蔵量は増えるが、産油国の生産枠拡大を狙った『水増し申告』によって増える場合もあるのでこの数字だけみて『まだ多く残っている』と安心するのは危険の様である。



L. 竹内 清



L. 蒔田 辰男



L. 山内 豊彦



L. 鈴木 栄



L. 吉川 昌三

物故会員 (6月~7月)
謹んで御冥福をお祈り致します。

- 上総一宮LC 故L. 宮崎健次 (1991年6月6日死去)
- 市川LC 故L. 長瀬興正 (1991年6月11日死去)
- 佐原LC 故L. 奥村房雄 (1991年6月26日死去)

編集後記

7月スタートした習志野CABも2ヶ月有余を経過して、順調な滑り出しを見せている。第1回CAB会議も無事に終了し、9月からは愈々ガバナー公式訪問の月に入った。その間地区内各クラブも活発な活動に入った、その状況が続々と我が編集部に寄せられてくる。第2号は、リジョンの頁を設けて各リジョンに自由な発想で書いていただく企画を立てた。先づ第1Rにお願いし、号を追って他のリジョンにもお願い致したい。ライオンズクラブの事に限らず、バラエティに富んだ地区ニュースを目指す編集部、これからも自由な御投稿をお願いしたい。

個人ローンのご案内

マイプランローン

- ご融資額 最高3億円
- ご融資利率 変動金利型 年7.5%
- ご融資期間 30年以内
- 保証人 不要
- 担保 不動産
- 担保提供者が借主と異なる場合は連帯保証人となります。
- 担保は不動産とし、保証会社が根抵当権を設定いたします。

カードローンステップ

- ご融資額/ご返済額
 - 30万円…毎月1万円
 - 50万円…毎月2万円
 - 100万円…毎月2万円
 - 200万円…毎月3万円
 (お申込はいずれの金額からでも可能です)
- ご融資利率 年13.4%
- 保証人・担保 不要
- お取引内容に応じて、ご利用限度額が段階的に最高200万円まで増額できます。
- 公共料金等の自動引落しの際、万一残高が不足の場合、自動的にご融資いたします。
- お取引内容により金利を優遇いたします。

大型フリーローン

- ご融資額 最高1億円
- ご融資利率 長期プライムレート連動の変動金利型
- ご融資期間 2年間(自動更新)
- 保証人 不要
- 担保 不動産、有価証券
- 担保提供者が借主と異なる場合は連帯保証人となります。
- 不動産担保の場合、保証会社が根抵当権を設定いたします。

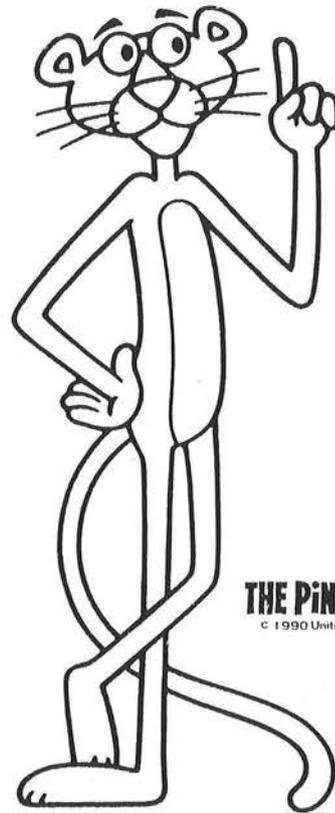
アパートローン

- ご融資額 最高5億円
- ご融資利率(変動金利型) 団信付保 年8.0%
- ご融資利率(変動金利型) 団信なし 年7.8%
- ご融資期間 30年以内
- 保証人・担保 必要
- 保証人は賃貸住宅経営継承予定の法定相続人1名。
- 担保は融対物件に保証会社が原則として抵当権を設定いたします。

マイカーローン

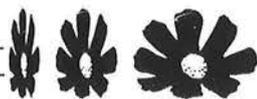
- ご融資額 最高500万円
- ご融資利率 年12.5%
- ご融資期間 7年以内
- 保証人・担保 不要
- ※ご融資額300万円超は原則として連帯保証人が必要です。
- 返済方法 元利均等月賦返済

(平成3年9月17日現在)



THE PINK PANTHER
© 1990 United Artists Pictures, Inc.

- 注) 1. お借入時の年齢が満20才以上の方が対象となります。
2. 上記内容のほか、当行所定の条件がございますので、詳しくは「ちば興銀」の窓口へ、お気軽におたずねください。



ちば興銀

大勇木材株 大勇木材株

自信の栈木パネルは大手建設会社より
高い信頼をいただいております。

大勇木材株式会社

代表取締役 小川 勇 一

本社 東京都江東区辰巳3-28-23
TEL 03-3521-5611(代)

自宅 千葉県習志野市藤崎3-5-24
TEL 0474-75-8828

電気設備コンサルタント



株式会社 ナラデン

代表取締役 安西光男

電気工事・設計・請負

| | | | | |
|---------|---------------------------|------------|------|---------|
| 建設工事の種類 | 電灯コンセント設備工事 | 動力配線設備工事 | 電話設備 | 給湯設備 |
| | 信号インターホーン設備 | 防災・防犯設備 | 空調設備 | 時計・表示設備 |
| | 受変電・非常電源設備 | 電力管理制御設備 | 照明設備 | |
| | CATV共同受診設備 | 通信・音響・放送設備 | | |
| 建設以外の営業 | 電気機械器具・販売・修理 | 発電機・電動機・巻替 | | |
| 種目 | 自家用変電設備の保安規定による定期試験及び各種測定 | | | |

〒275 千葉県習志野市東習志野4-18-27
TEL 0474 (76) 3 3 1 1 (代)
FAX 0474 (77) 6 8 1 1